

看護学科 3年 後期 専門基礎科目／専門科目

1. 保健医療福祉統計概説
2. 総合実習

看護学科

科目名: 保健医療福祉統計概説				担当教員 氏名: 荒木晴美、炭谷靖子、河相てる美、村井嘉寛、矢野恵子、今川孝枝、小倉之子、高田亮子、古里直子、北山由起子他		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	3年次	後期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・国民衛生の動向、福祉の動向をテキストとして、日本における保健・医療・福祉に関する統計的数値の意味を学び、看護実践における重要な数値とは何かを理解する。 ・講義の方法は、各専門領域の教員がそれぞれ担当し、保健・医療・福祉の現状を確認し今後の展望についてディスカッションしながら進める。 ・看護師として総合的な知識を確認する。 						統計指標 疾病対策 医療対策 福祉対策
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力			<ul style="list-style-type: none"> ①衛生の主要指標と結びつけながら、健康増進と生活習慣病対策について考える。 ②衛生の主要指標と結びつけながら、母子保健について考える。 ③衛生の主要指標と結びつけながら、感染症対策について考える。 ④衛生の主要指標と結びつけながら、精神保健について考える。 ⑤衛生の主要指標と結びつけながら、疾病対策(腎疾患・リウマチ・アレルギー)について考える。 ⑥衛生の主要指標と結びつけながら、疾病対策(がん、難病)について考える。 ⑦衛生の主要指標と結びつけながら、地域包括ケア、介護保険、在宅看護について考える。 ⑧衛生の主要指標と結びつけながら、医療対策・健康増進・生活習慣病対策について考える。 			
C 論理的思考力						
D 問題解決力						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 100 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: %		
特記事項: 授業はこれまでの学習の総まとめとしての評価判定とする。						
アクティブラーニング要素: (課題解決型学習) ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 毎回の授業時に小テスト、終了後にまとめて本試験を実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 毎回の授業でフィードバックし、最終試験に備える。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①基礎医学について考える。				<ul style="list-style-type: none"> ・国民衛生の動向・テキストの確認 ・学習事項についてノートを作成 ・不明事項の書き出し、事前学習 ・小テストの振り返り ・不確かな事項についての事後確認 	【予習】120分 【復習】120分	
②母子の保健と看護について考える。					【予習】120分 【復習】120分	
③基礎看護について考える。					【予習】120分 【復習】120分	
④精神保健について考える。					【予習】120分 【復習】120分	
⑤疾病対策(腎疾患・リウマチ・アレルギーなど)について考える。					【予習】120分 【復習】120分	
⑥疾病対策(がん、難病)について考える					【予習】120分 【復習】120分	
⑦地域包括ケア、介護保険、在宅看護について考える。					【予習】120分 【復習】120分	
⑧医療対策・感染対策・生活習慣病対策について考える。					【予習】120分 【復習】120分	
上記について毎回確実に実施すること						
使用テキスト: 国民衛生の動向(厚生統計協会) 図説 国民衛生の動向(厚生統計協会) ISBN978-4-87511-777-3				その他参考文献など: 国民の福祉の動向(厚生統計協会) 国家試験問題集		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 各授業にはこれまでの授業の振り返りを十分に行って臨むこと。 国家試験に向けての最終のまとめの授業となります。						

看護学科

科目名: 総合実習				担当教員 氏名: 河相てる美、小倉之子、荒木晴美、矢野恵子、高田亮子、中田智子、古里直子、稲垣尚恵、炭谷英信 他	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	
2	3年次 後期	専門科目	実習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
臨地実習の最終に開講される科目である。それまでの実習経験を踏まえ、理論と実践の統合を目指し思考を深めることにより、自己の看護観を確立する。さらに卒業後の課題を明確にし生涯学習への自己教育の契機とする。(臨地実習)				理論と実践の統合 看護観 看護管理	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 9. 10	
A 知識・理解力		理論と実践の統合を目指し思考を深める			
B 専門的技術		自己の看護観を確立する。			
C 論理的思考力		卒業後の課題を明確にし生涯学習への自己教育の契機とする。			
E 自己管理能力		実習中の自己の健康管理ができ、欠席しない。			
F チームワーク・リーダーシップ		優先順位を考えて、時間管理を考慮し、グループで実習を遂行できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%
				実技試験:	%
				その他:	100 %
特記事項: 評価は、出席状況・実習記録類・課題レポート・実習中の学習態度 * 提出物は期限を厳守すること * 原則として遅刻、欠席は認めない					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:					
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)	
				学習内容	学習に必要な時間(分)
3年次 2単位 90時間 実習病院: 射水市民病院 富山西総合病院 金沢医科大学水見市民病院 真生会富山病院 高岡ふしき病院 厚生連高岡病院 富山協立病院 * 詳細については実習要項に記載 * 原則、就職内定者は当該病院実習を優先する				【予習】事前課題は、実習前にまとめて提出。実習前日は翌日の実習行動計画を立てる。【復習】、実習終了後は一日の評価と学びを記録。実習終了後は、理論と統合し実習要約を報告する。 【予習】120分 【復習】120分	
使用テキスト:				その他参考文献など:	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): * 遅刻、欠席は原則として認めないので、健康および生活の自己管理を十分に行うこと * 基礎・領域別実習を統合させた実習とする					